

# かもめ便り

記事紹介	新入職員紹介	1面
	小渦会 大運動会	2面
	配食サービス	3面
	地域連携室だより	3面
	Dr.'sエッセイ	4面

【発行・編集】社会福祉法人 小渦会 鳴門シーガル病院 理事長 鎌田啓三  
徳島県鳴門市瀬戸町堂浦字阿波井57番地 TEL. 088-688-0011(代)

【ホームページ】 <http://k-seagull.jp/> シーガル病院

## シーガルニュース 新入職員紹介



看護師  
平坂 明義

今年の三月に神戸から徳島へ移住してきました。この堂浦には昔から釣りが縁で頻りに訪れていたことから、当院の存在を知りました。釣りバカにはたまらないロケーションの中で看護ができることは正に夢のようで、毎日ワクワクして出勤しています。精神科看護は初めてですが、心を磨かせていただくつもりで頑張りたいと思います。ご指導宜しくお願いします。



看護師  
三木 俊貴

最初は、分からないことだらけで不安で一杯でしたが、先輩方の優しいご指導のおかげで少しずつですが業務にも慣れてきたように思います。これから、できることを増やして一人前の看護師として働けるように学ぶ姿勢を忘れず、精一杯努力させていただきます。これからもご指導のほどよろしくお願ひいたします。



看護師  
馬場 康平

この度、鳴門シーガル病院に就職できたことを大変嬉しく思います。これからは知識はもちろん、実体験を通してこそ学ぶことが出来る身体的、そして精神的な技術の習得にも力を入れ、暖かい看護を目指して日々精進していきたいと思っています。まだまだ未熟ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

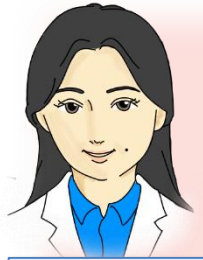


准看護師  
辻 真美

精神科勤務は初めてなので、まだまだわからないことが多く緊張の毎日です。先輩方からのご指導、サポートを受けて日々学んでいます。笑顔を忘れずに患者さんに寄り添うことが出来る看護師になりたいです。分からないことばかりですが、一生懸命頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。



4月1日より新たに当院のスタッフとなりました、新入職員を紹介いたします。皆さん大変意識が高く、今後は当院の中心となって力を発揮してくれそうな方ばかりです。今後のますますの活躍を祈っております。



医師  
渡邊 望

シーガル病院を初めて訪れた時から、のどかで温かい雰囲気を感じていました。今ここで、皆さんと一緒に働かせて頂く事を、とても嬉しく、有難く思っています。患者様の笑顔や健康に貢献できるよう、日々患者様の心と体の痛みや苦しみを理解し、寄り添っていきたく思います。これからどうぞ宜しくお願いいたします。



## 地域交流

## 春の運動会

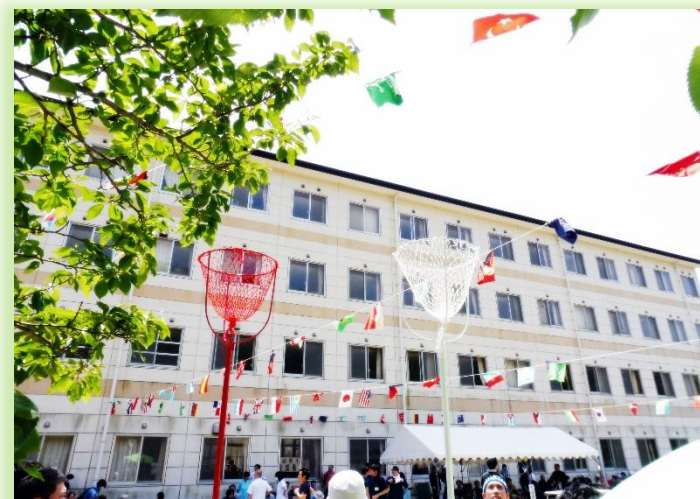


6月14日、小渦会の春季運動会が開催されました。

雨が降ることもなく、気持ちのいい五月晴れ。絶好の運動会日和でした。

毎年恒例ではありますが、入院中で病院内で過ごすことの多い方々にとって、屋外で活動して気持ちをリフレッシュする良い機会となったのではないのでしょうか。

また、当日は瀬戸中学校の生徒の皆さんや、地域の方もたくさん競技に参加下



下さいました。綱引きをしたり、一緒に走ったりして、地域と病院とのとても暖かな交流が出来たと思います。

行われた競技は「未知との遭遇」や「食欲の春」など、例年通りユニークなネーミングのものがたくさんありました。パン食い競争のパンの代わりにお菓子をを用意した「かけっこ」であったり、お題に見合う人を連れてきた上で対決して勝敗を決したり、内容は定番からオリジ

ナルなものまで様々でしたが、どれも盛り上がりました。

特に歓声が上がって印象的だったのが、職員による仮装・寸劇・大縄跳びを合わせた「マサイの戦士」。工作中からは想像もつかない衣装や演技に、会場中が大笑いでした。

今年も昨年に続いて、怪我をする人や体調を崩す人も出ず、無事に運動会を終えることが出来ました。

良いところはそのままに、もっと楽しんでいただけるよう少しずつ工夫を加え、また参加したいと思えるイベントにできるよう、今後も企画・運営に努めて参ります。







## 地域連携室 だより

これまでのかもめ便りでは、当院で実施している無料低額診療事業がどのような事業なのかについてご紹介させていただきました。前回までの大まかな内容としては

### ①無料低額診療事業では医療費等の自己負担が全部、もしくは一部が減免される

「医療費等」という括りには、診療費自己負担金、入院における差額ベッド料、健康保険適用外の検査等の費用、患者移送に要する費用、日用品の支給または貸与並びに衛生に要する費用、その他が含まれます。

### ②経済的に困窮されている方が対象となる

経済的に困窮されている方の定義としては、(当院内規にて)収入や預貯金などの資産が生活保護法による生活扶助基準の1.3倍以内である方としています。

以上のような点についてでした。

今回は、具体的に無料低額診療

事業を利用するケースをご紹介します。 (なお、今回の事例は実際にあった事例ではなく、無料低額診療事業が対象となるケースを想定して作成したものです。)

精神的な不調のために診察にいられたAさんとそのご家族のBさん。医師の診察にて入院が必要と判断され、Aさんも入院については希望をされましたが、入院に対する経済的な不安があるという話が出ました。Aさんは数か月前に仕事を退職されており、家族からの援助を受けてなんとか生活をやりくりしている状態だったのです。この経済状況から無料低額診療の適応になる可能性があったため、PSWが面談とともに簡単な資産調査を行いました。その結果、現在は固定的な収入がなく、預貯金が数十万円程度あるだけと分かり、預貯金の額からして現在は生活保護の適応ではないけれども当院の規定である生活保護基準額の1.3倍以内である(=無料低額診療事

業の対象になる)と判断できました。

そしてAさんは経済状況から入院にかかる自己負担分の免除にて、入院費と食事費の自己負担分を支払わなくてもよくなり入院をし、その後、体調が改善して3か月程で退院されました。

今回想定した事例のように、「入院が必要な状態なのに経済的に不安だからそれができない」という悩みを抱えられている方は多いのではないかと思います。そのような悩みがある場合、無料低額診療事業を活用することでその悩みを解消することができるかもしれませんので、少しでもそのような悩みがあれば気兼ねなく地域連携室へご相談して頂ければと思います。



## 地域交流

## 配食サービス

5月10日に、鳴門市は瀬戸町にお住いの高齢者の方を対象に、配食サービスを行いました。

「配食サービス」は当院が平成26年度から取り組んでいるもので、地域にお住いの高齢者の方に、無料でお弁当をお配りするサービスです。本年度は今回が2回目で、年に4回行っております。

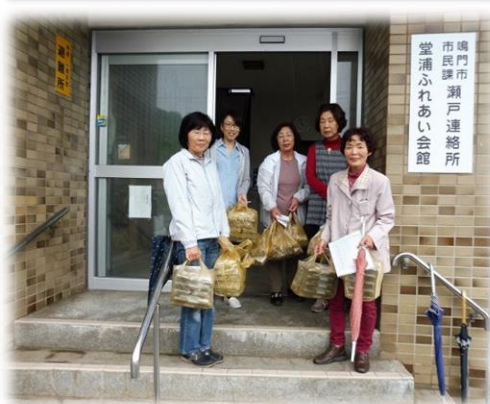
当日は、地域の住民の方々に配布のボランティアにご協力頂き、手分けして合計107名の方にお弁当をお配りしました。迷路のように入り組んだ道も、迷いなく進んでいかれる後を追いつながら、ボランティアの方々の土地勘の力があってこそ出来るサービスだな、と痛感すると



ともにご協力くださることのありがたさを感じます。

何十件とお家へお邪魔して配っていると、お弁当を持つ手も進める足も重たくなってきましたが、お弁当を受け取った方が笑顔で「ありがとう」と声をかけて下さるのを見るとエネルギーが戻ってきます。

今後も喜んでいただけるように、サービスを継続していきたいと思っています。



鳴門市 瀬戸連絡所  
堂浦ふれあい会館







私の子ども時代、水曜ロードショーから日曜洋画劇場まで、さかんにテレビで映画が流されていた。その中でも第2次世界大戦時のヨーロッパを舞台にした戦争映画が好きでよく観たのである。それらは作り手のアメリカ、イギリスの視点から描かれているので、いわゆる連合国側は何を行っても正義となり、敵側のドイツはあらゆる行為が悪と見なされている内容がほとんどであった。

当時のドイツ軍占領下には反ナチス、反ドイツ抵抗勢力「パルチザン」という組織が結成されて、ドイツ軍政の妨害工作を行っていた。映画でよく描かれる代表的なシーンはこんな感じである。「パリの街角の昼下がり。カフェでくつろぐ複数のドイツ軍将校。そこに一台の車がずっと近寄ってきて、普通の市民の格好をしたパルチザンがいきなりドイツ軍将校に向けて自動小銃を乱射。将校は全員射殺されてパルチザンは悠々と何事もなかったかのように車を走らせてその場を立ち去っていき、彼らと示し合わせていたカフェの店員は身を潜めていた物陰か

ら立ち上がり、亡くなった将校が飲もうとしていたグラスに一輪の花を差し入れてニコリと微笑む・・・」

悪者であるドイツ軍将兵はどんな殺され方をしてもかまわない。何故なら压制者、独裁者に立ち向かうパルチザンはいつでもどんな時でも正義なのだから。しかし国際法に従えば、軍服を着ていない人間は兵士ではなくスパイという扱いになり、通常の抗戦規定の適用を受けない。スパイは見つけ次第、射殺されても文句は言えず、スパイ行為により巻き添えになってしまった市民の犠牲の責任はすべてスパイに帰せられることになる。

そういう映画のストーリーに喝采を浴びせていたパリの市民に起こったイスラミック・ステイトによるテロ行為。その内容はパルチザンが行った行為ときわめて類似している。ISから見ればフランスは現在の十字軍であり、压制者や支配者という見方であろう。

民間人を装い、敵の軍人を襲撃することと、民間人を装い、敵の民間人を襲撃することはどちらが本質的に悪いだろうか？私にはよくわからない。

ただ仲間をそういう形で殺された軍人の銃口はその近くにあった無関係の市民を巻き込むことは容易に想像がつく。残虐行為として認定を受けたドイツ軍の行為の一部にもその影響はあるだろう。そして南京に入場した日本兵は軍服を着ない国民党軍の兵士にいきなり背後から発砲されることが続いた。南京の事件にもそういう背景があり、その影響が今でも暗い影を落とし続けている。同様にベトナム、アフガニスタン、イラクでもそのようなことは幾度も起こり続けた。

歴史は常に繰り返され、正義は当事者の数だけ存在するが、最後に生き残る正義は戦いの結果が決めるのみ。悲しいながらこれが歴史の変わらぬ真実なのかもしれない。でも負の連鎖をどこかで断ち切ることで社会も人も変わりうると信じたい。そういう信念を忘れず、我々も患者さんに向き合おう。たとえ小さな出会いであっても、思いもかけぬ大きな変化につながることを心の隅で願いながら…

医師 澤田 和之

## 【編集後記】

春が近付いてきましたが、まだまだ寒い日が続いています。寒暖差も激しいので、体調管理に気を付けましょう。

次号(『かもめ便り』第14号)は、2016年8月に発行の予定です。

編集担当 内藤

社会福祉法人 小滴会URL



## 鳴門シーガル病院 交通案内

● JR鳴門駅から「北泊・堂浦行」徳島バスで堂浦(どうのうら)下車(所要時間20分)

● 直営渡船利用 (所要時間2分)

◎ 渡船(無料)運航時間

午前7時30分から午後5時15分まで

定時運航(10分~30分間隔)しています。

TEL088-688-0011(代)

